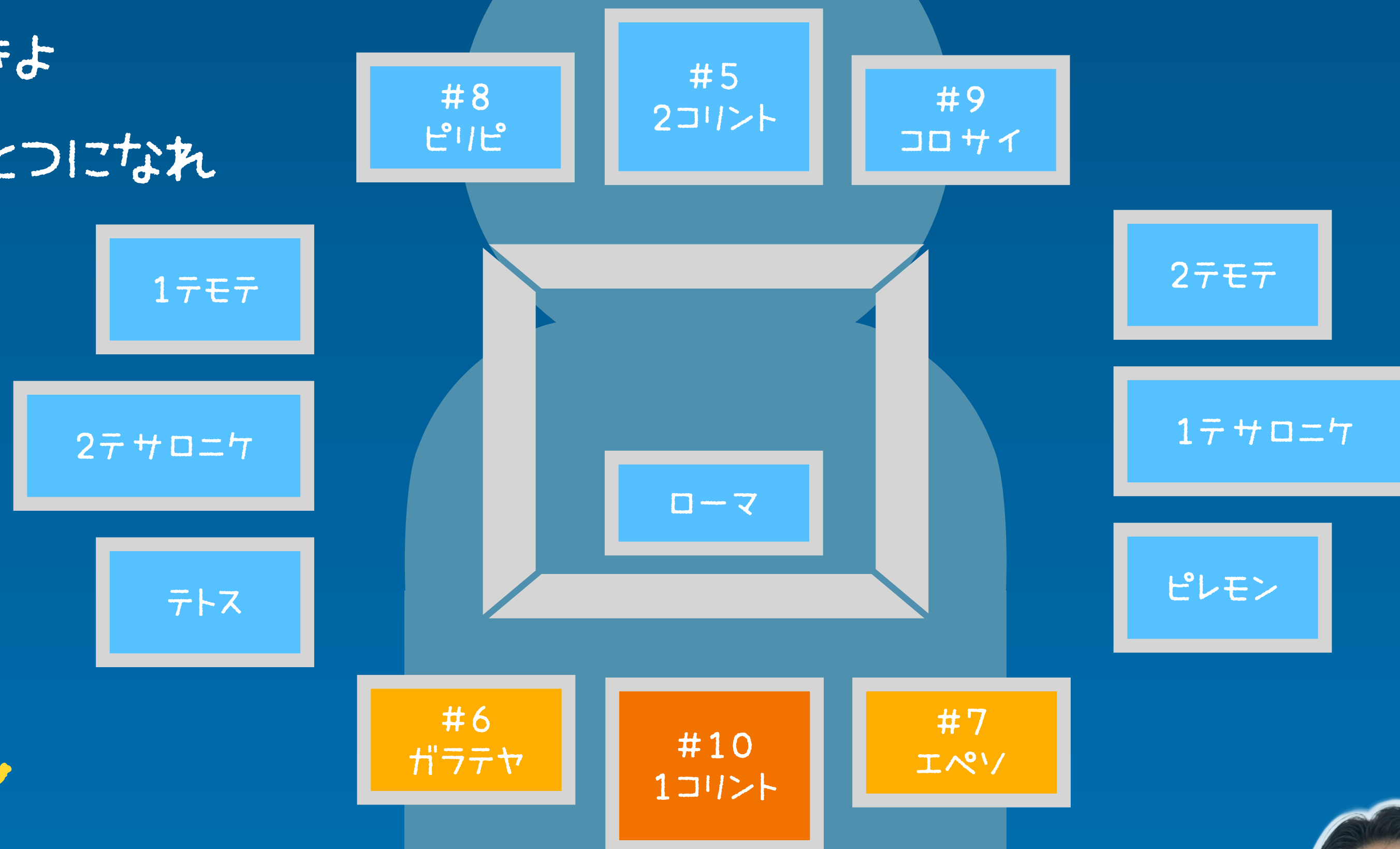


# #25 コリント1をまるごと読む

- ガラテヤ - 6戒. 殺すな 御霊によって生きよ
- エペソ - 7戒. 姦淫するな 御霊にあってひとつになれ

- **コリント1**  
10戒. むさぼるな  
肉の欲を捨て  
御霊で満たし合え



# #25 コリント1をまるごと読む

1.2章 .3.4.5.6.7.8.9.  11.12.13.14 15章 .16

・十字架の知恵

・復活

肉の欲との戦い





# #25 コリント1をまるごと読む

## 不品行

## 偶像に捧げた肉

使徒の働き15章 エルサレム会議

「すなわち、**偶像に供えたものと、血**  
**と、絞め殺したものと、淫らな行いを避**  
**ける**ことです。これらを避けていれば、  
それで結構です・・・」





聖書再入門 (聖書人になりたい・シーズン3)

# #25 コリント1をまるごと読む





## #25 コリント1をまるごと読む

# 黙示録7つの教会の手紙の中に

「・・・バラムはバラクに教えて、偶像に献じたいけにえをイスラエルの子らが食べ、淫らなことを行うように、彼らの前につまずきを置かせた。」 ヨハネの黙示録2章14節

「・・・あの女、イゼベル・・・は・・・あたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献じた物を食べさせている。」 ヨハネの黙示録2章20節



## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント10章

「・・・偶像礼拝者になってはいけません。聖書には「民は、座っては食べた、飲んだし、立っては戯れた」と書いてあります。また・・・淫らなことを行うことのないようにしましょう。彼らはそれをして一日に二万三千人が倒れて死にました。」

「みな、同じ霊的な食べ物を食べ、みな、同じ霊的な飲み物を飲みました・・・」





## #25 コリント1をまるごと読む

# ガラテヤ5章

「肉のあざは明らかです。すなわち、**淫らな行い、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興**、そういった類のものです。」

「キリスト・イエスにつく者は、**自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけた**のです。」



#25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント1章2章

「私はパウロにつく、私はアポロに。私はケファに・・・」

「ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシア人は知恵を追求します。」

「・・・私たちは人間の知恵によって教えられたことばではなく、  
御霊に教えられたことばを用います。」





## #25 コリント1をまるごと読む

# 箴言

「イスラエルの王、ダビデの子ソロモンの箴言。」1章

「主の憎むものが六つある。いや、主が自身が忌み嫌うものが七つある。高ぶる目、偽りの舌・・・」6章





## #25 コリント1をまるごと読む

### 申命記

「また王は、自分のために多くの妻を持って、心が“それること”  
あってはならない。・・・」17章17節

「それは、王の心が“自分の同胞の上に高ぶることのないように”  
するため、・・・」17章20節





## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント3章

「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。・・あなたがたは神の畑、神の建物です。」





## #25 コリント1をまるごと読む

# 箴言

「イスラエルの王、ダビデの子ソロモンの箴言。」

「また思慮と英知は、あなたをよその女から、ことばの滑らかな見知らぬ女から救い出す。・・・彼女の家は死へと、その道筋は死者の霊の国へと下る。」 2章





## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント8-11章

「・・・あなたがたに**悪霊と交わる者**になってもらいたくありません。あなたがたは、主の杯を飲みながら、**悪霊の杯**を飲むことはできません。・・・」10章

「というのも、食事のとき、それぞれが我先にと自分の食事をするので、空腹な者もいれば、酔っている者もいるという始末だからです。」11章





## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント8-11章

「私たちが神をほめたたえる賛美の杯は、キリストの血にあずかることではあいませんか。私たちが裂くパンは、キリストのからだにあずかることではあいませんか。パンは一つですから、私たちは大勢いても、一つのからだです。皆がともに一つのパンを食べるのであります。」 10章16～17節





## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント12章

「皆の益となるために、一人ひとりに**御霊の現れ**が**与えられている**のです。ある人には**御霊を通して知恵のことば**が、ある人には**同じ御霊によって知識のことば**が与えられています。ある人には**同じ御霊によって信仰**、ある人には**同一の御霊によって癒やしの賜物**、ある人には**奇跡を行なう力**、ある人には**預言**、ある人には**霊を見分ける力**、ある人には**種々の異言**、ある人には**異言を解釈し明かす力**が与えられています。」





#25 コリント1をまるごと読む

## 1コリント13章

「たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。・・・愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。・・・愛は決して絶えることがありません。・・・」





#25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント13章

「こういうあけで、いつまでも残るのは**信仰と希望と愛**、これら三つです。**その中で一番すぐれているのは愛**です。」





## #25 コリント1をまるごと読む

# 1コリント15章

「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。・・・しかし、それぞれに順序があります。まず初穂であるキリスト、次にその来臨のときにキリストに属している人たちです。それから終末が来ます。・・・最後の敵として滅ぼされるのは、死です。」

